



舗装工事の常識を覆す

(株)石川建設 代表取締役 石川英明さん



は依然昔のまま。今までの業界の当たり前を見直し、作業環境の改善と効率化を図れないか…。そんなとき、道路を保護するマスキングテープを見て、「両面テープを接着剤の代わりに使ってみよう！」とひらめいたんです。



火気を扱わないことで現場環境が改善

道路舗装工事の現場で、従来のアス

ファルト原液に代わる両面テープ状の接着剤「アステープ」を開発した(株)石川建設。今回のコンテストでは、アスファルト舗装の補修工事の常識を覆す独自の発想と技術が評価されました。

「アステープ」の特徴は？

石川 まず「火気を扱わない」ことで、作業中の火災や火傷などの事故を防ぎ、現場の作業員だけでなく、地域住民の皆さんにも安全・安心な工事を提供することが可能です。また、テープを貼って剥がすだけという簡単な作業に加え、工程も大幅に簡素化できます。今まで火気の使用が難しかった工場敷地内の舗装にも対応でき、新たな需要が掘り起こせるのではと期待しています。

「会議所に期待すること」は？

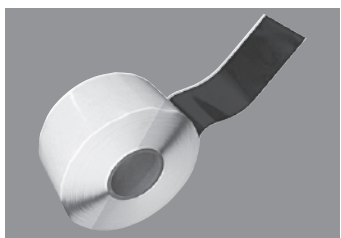
石川 「道路舗装補修工事にはアステープ」が常識となるように広めていきたいですが、そのためには、生産体制の整備、販路の開拓、活発なプロモーションなど課題山積です。工事業を営んできた弊社は製造や販売の経験もなく、わからないことばかりですので、引き続き総合的なサポートをお願いします。

「アステープ」開発のきっかけは？

石川 道路舗装工事では、アスファルト合材を道路面に接着するために、200℃に加熱したアスファルト原液を塗布します。初めて現場に立つたとき、ドラム缶でアスファルト原液をぐつぐつと沸かしているのを見て、その工事

「今後の取り組みは？」

石川 各地に代理店を募り、アステープを全国に広めていきたいと考えています。もちろん、これまでの舗装工事のやり方を変えるのは容易でないかもしれませんが、当社の商品を実際に使ってもらえれば、その魅力が実感できるはず！一人でも多くの工事関係者にまず一度使ってもらいたいですね。また、国土交通省のNETIS(新技術情報提供シ



アステープ

の危険性に大きな衝撃を受けました。土木工事の機械や技術はほとんど進歩しているのに、工事方法そのもの



アステープを使用した舗装工事

〈会社概要〉

(株)石川建設

舗装工事業、土木工事業

京都市伏見区深草小久保町303

☎075-641-2384

<http://www.ishikawakensetsu.jp/>